

2024年 2月 24日  
日本共産党北九州市会議員団

岸田自公政権は、コロナ禍に続く物価高騰により、国民のくらしと中小業者の経営が深刻な危機の中、インボイスを強行し、消費税の減税に背を向けたままです。一方で、自民党派閥の裏金疑惑に、国民の怒りの世論が沸騰しています。

## 不安定な世界の情勢と非核平和都市北九州

世界ではロシアのウクライナ侵略とイスラエルのガザ軍事侵攻、国内政治では憲法違反の「敵基地攻撃能力の保有」など、「戦争か平和か」が鋭く問われています。岸田政権下で北九州市では、陸上自衛隊小倉駐屯地や富野弾薬庫の「強靱化計画」や土地利用規制法など「戦争する国づくり」が着々と進められています。報復攻撃で犠牲になるのは北九州市民です。「非核平和都市宣言」を掲げる北九州市を、岸田政権にモノを言う市政に変えましょう。

## 「くらし豊かに」—市民の安全、くらしと福祉充実へ—

「能登半島地震」を教訓に、災害への備えが改めて問われています。万が一の災害発生に備えた体制の整備に力を尽くすことが、行政に課せられた重要な課題です。また、多くの店舗が焼失した烏町食道街火災では、業務再開に向けた支援が求められています。

武内市長は、「稼げるまち」を前面に掲げていますが、これは自治体を企業が儲けるための手段にするものであり、地方自治の本旨である「住民福祉の向上」を投げ捨てるものです。人口減少や市民所得の低さは、歴代市長と我が党以外のオール与党により、赤字の大型事業を推進した結果、1兆4千億円の借金が財政を悪化させ、非正規雇用と低賃金労働者をうみだしてきたことが要因です。

2月議会の論戦と、市民のみなさんと共同した運動で、赤字の大型開発をストップし、学校給食の無償化・子ども医療費の完全無償化・高齢者補聴器購入助成制度・高齢者福祉乗車券の導入、ケア労働者の処遇改善など市民生活応援の市政への転換をめざして全力をあげます。

# 目 次

市政資料	ページ
人口	1～4
令和6年度予算	5・6
市の財政	7・8
大型開発	9・10
高齢化率／補聴器購入助成制度	11・12
学校給食無償化と質の向上	13・14
ユースステーション	15・16
門司港地域複合公共施設	17・18
会計年度任用職員／指定管理者制度	19・20
PCB処理事業／白島国家石油備蓄基地	21・22
自然災害／感染症対策	23・24
土地利用規制法／自衛隊基地強靱化	25・26
市場火災	27・28
市民要求が前進したもの	29・30

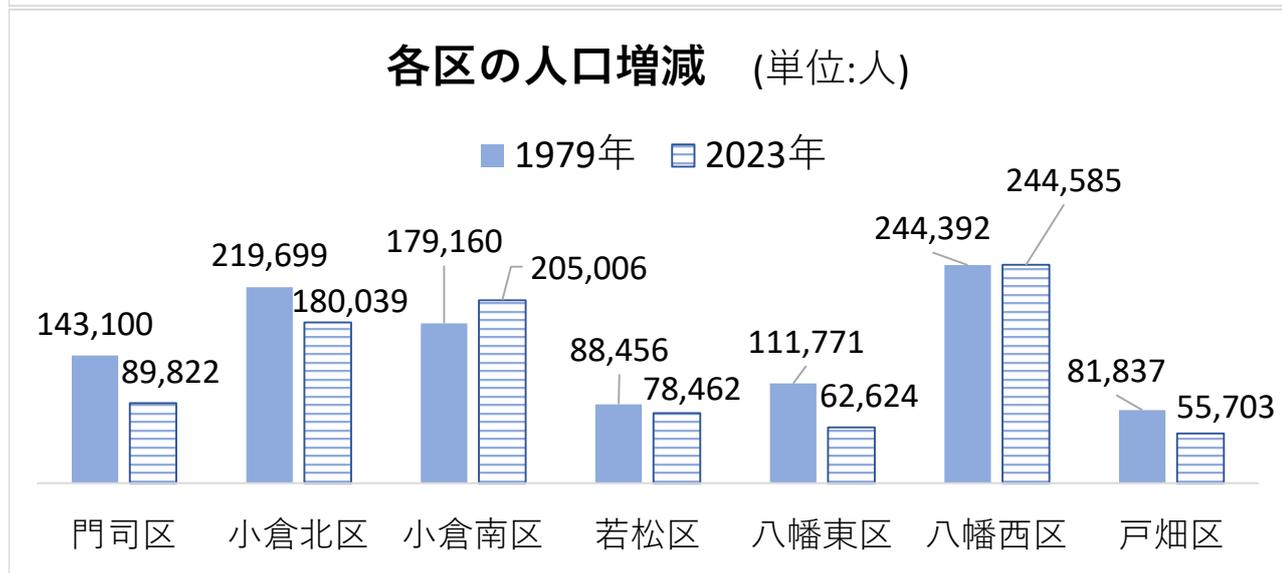
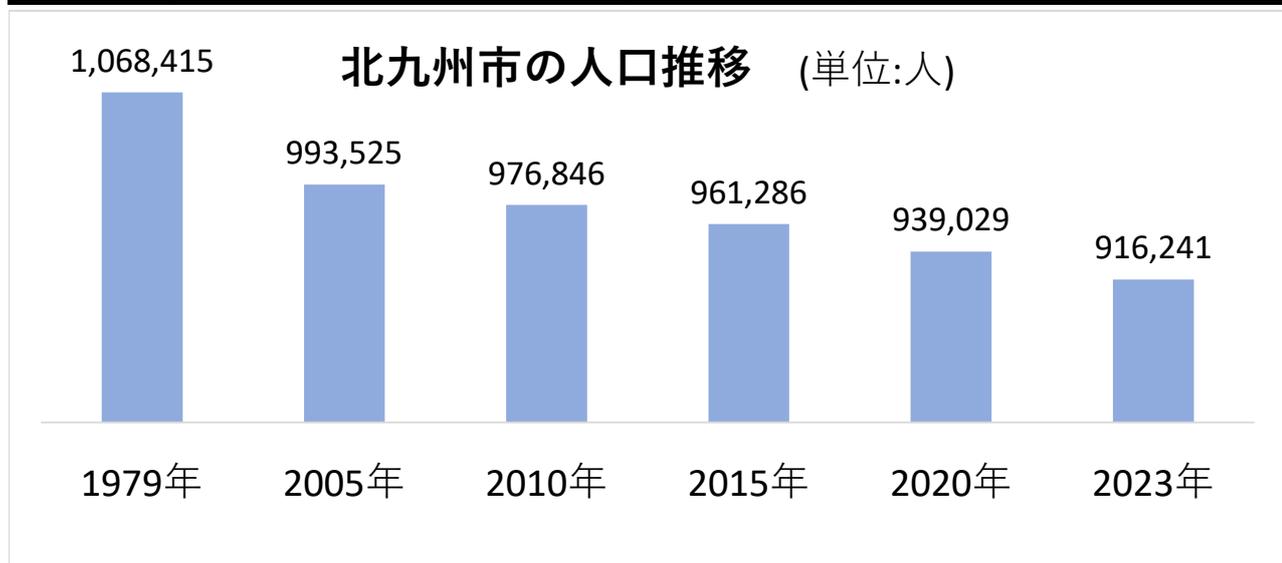
## 議員紹介

荒川 徹	31
藤沢 加代	32
山内 涼成	33
大石 正信	34
高橋 都	35
出口 成信	36
伊藤 淳一	37
永井 佑	38

# ●北九州市の人口変動とその特徴

《北九州市の人口》 「北九州市推計人口」 各年10月1日現在 (単位:人)

区分	人口・世帯数・1世帯あたり人員			世帯数 (単位:世帯)	総人口数 前年対比
	推計人口				
	計	男	女		
2019年	940,141	443,619	496,522	431,960	1,561
2020年	939,029	443,269	495,760	436,245	-1,112
2021年	931,551	439,491	492,060	436,887	-7,478
2022年	924,143	441,322	489,245	438,058	-7,408
2023年	916,241	432,717	483,524	438,678	-7,902
門司区	89,822	41,242	48,580	42,557	-1,297
小倉北区	180,039	84,446	95,593	96,972	-1,127
小倉南区	205,006	97,461	107,545	92,612	-1,616
若松区	78,462	37,522	40,940	34,241	-574
八幡東区	62,624	29,627	32,997	30,217	-704
八幡西区	244,585	115,319	129,266	113,998	-1,981
戸畑区	55,703	27,100	28,603	28,081	-603

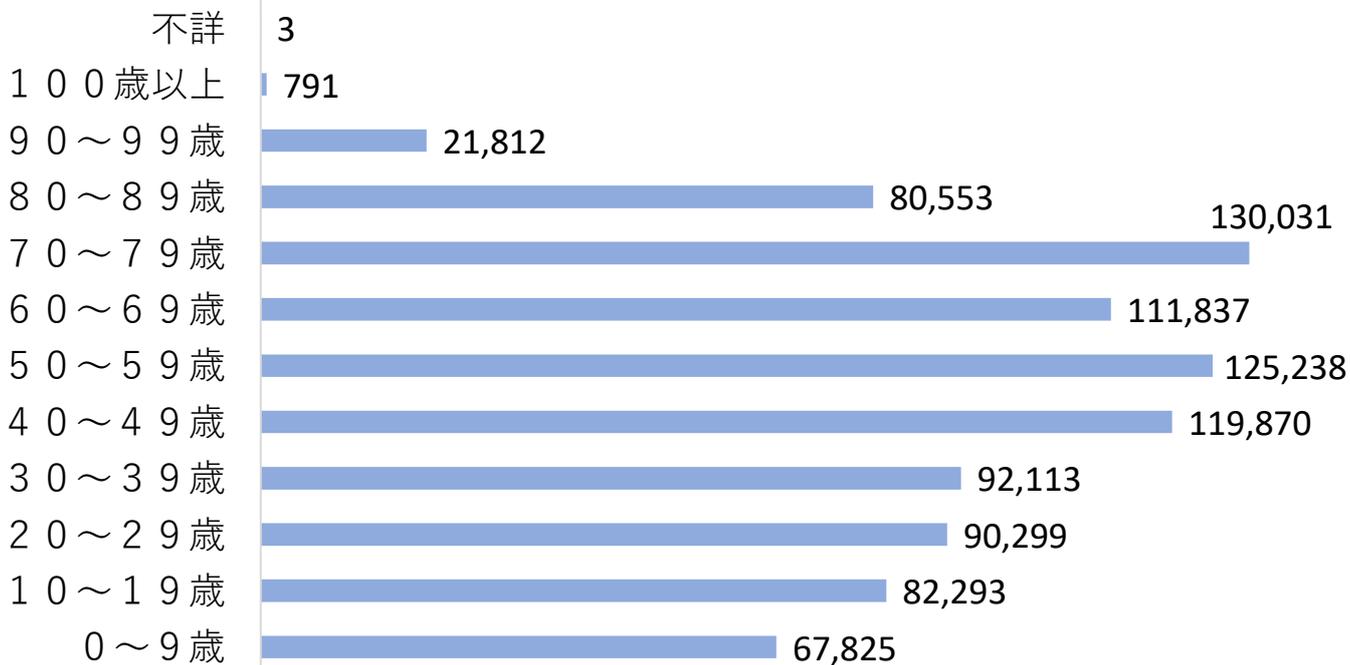


# 《年齢別人口》

「年齢別」各年9月30日現在（単位:人）

区分	2019年	2020年	2022年	2023年
総計	951,047	945,453	930,567	<b>922,665</b>
0～9歳	76,324	74,603	70,175	<b>67,825</b>
10～19歳	85,362	84,577	82,811	<b>82,293</b>
20～29歳	91,921	91,634	90,695	<b>90,299</b>
30～39歳	102,196	99,232	94,397	<b>92,113</b>
40～49歳	131,670	129,750	123,393	<b>119,870</b>
50～59歳	115,844	117,615	122,724	<b>125,238</b>
60～69歳	127,414	121,878	114,133	<b>111,837</b>
70～79歳	127,609	130,697	130,490	<b>130,031</b>
80～89歳	73,770	75,546	79,857	<b>80,553</b>
90～99歳	18,325	19,186	21,074	<b>21,812</b>
100歳以上	609	732	815	<b>791</b>
不詳	3	3	3	<b>3</b>

## 2023年 年齢別人口



昨年度までのデータと比べると、39歳までの人口は減り続けており、市全体の高齢化がより進んでいます。また、出生数も前年度対比で、-349人と大きく減少しています。

来年度以降、40歳～49歳の人口も劇的に減少していく傾向があり、今後、市の人口に大きな変化がなければ、少子高齢化の課題は一層深刻なものになっていくことが予想されます。



## 《人口異動》

人口は自然動態も社会動態もマイナス。特に自然動態は、2015年から減少幅が拡大し続けており、大きな課題となっています。

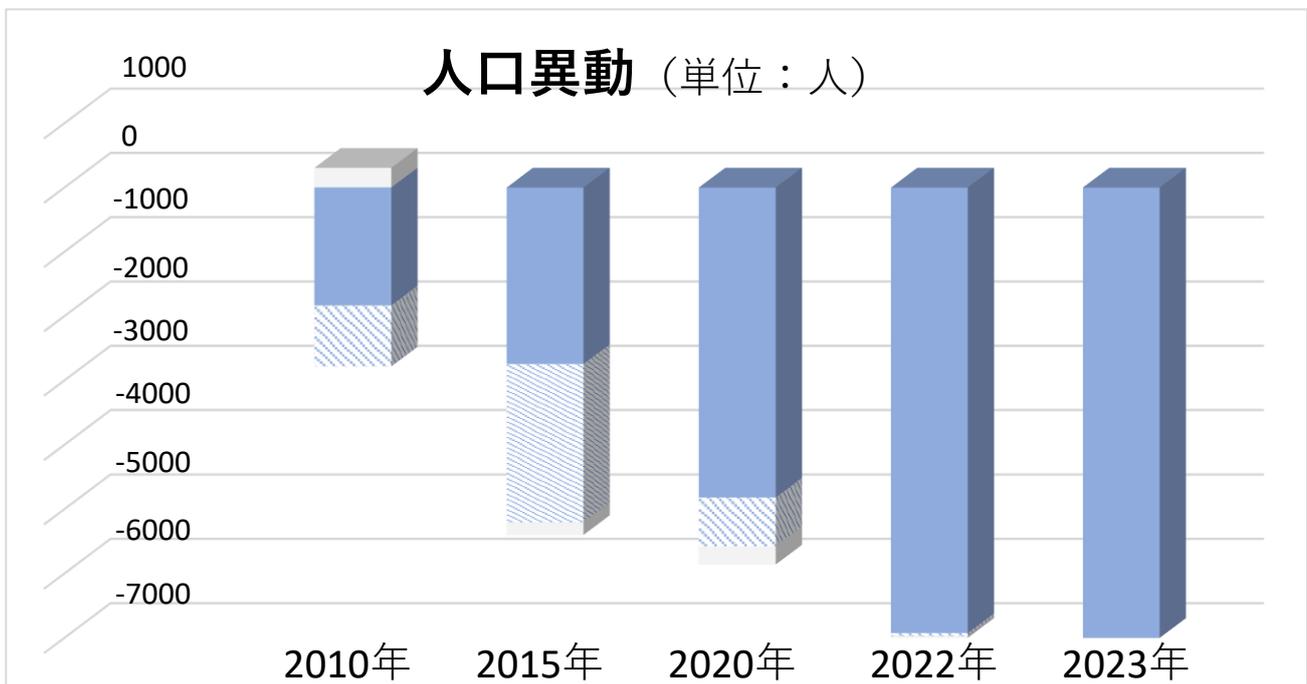
市長の掲げた「100万人都市復活」への道のりは遠い状況です。人口減少への対策が急がれます。



(単位:人)

年	人口増減	自然動態		自然増減	社会動態		社会増減	その他
		出生	死亡		転入	転出		
2010年	-2,479	8,369	9,665	-1,832	45,918	52,961	-951	304
2015年	-5,400	7,942	10,686	-2,744	43,974	46,437	-2,463	-193
2020年	-5,860	6,570	11,388	-4,818	42,030	42,787	-757	-285
2022年	-7,229	5,973	12,897	-6,924	42,740	42,788	-48	-257
2023年	-8,142	5,595	13,235	-7,640	42,603	42,809	-206	-296

「推計人口異動状況」 (各年1月現在)



※各年の数値は、当年の1月～12月の動態を示している。

※その他の増減は、職権記載、職権削除、帰化等



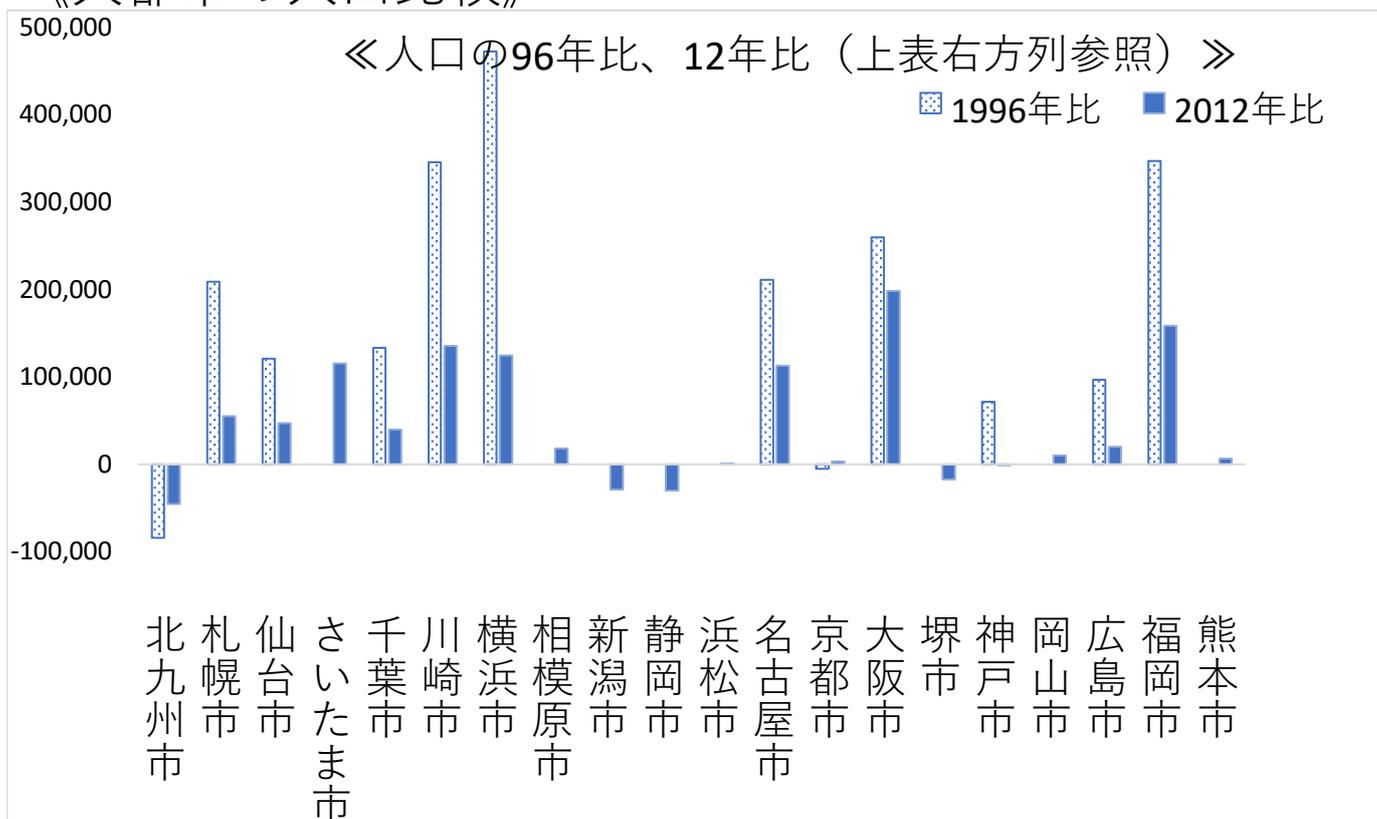
## 《行政施策への要望》

令和5年度 北九州市「市民意識調査」より

- 1位 高齢社会対策の推進
- 2位 子育て支援の推進
- 3位 産業の振興
- 4位 学校教育の充実
- 5位 医療・衛生管理体制の充実



# 《大都市の人口比較》



	1996年	2012年	2023年	1996年	2012年比	
北九州市	1,013,407	974,691	929,396	-84,011	-45,295	95%
札幌市	1,750,627	1,904,319	1,959,512	208,885	55,193	103%
仙台市	946,652	1,020,241	1,067,486	120,834	47,245	105%
さいたま市		1,223,954	1,339,333		115,379	109%
千葉市	843,543	937,146	977,016	133,473	39,870	104%
川崎市	1,178,564	1,388,481	1,524,026	345,462	135,545	110%
横浜市	3,281,270	3,629,257	3,753,645	472,375	124,388	103%
相模原市		700,923	719,118		18,195	103%
新潟市		802,778	773,914		-28,864	96%
静岡市		713,640	683,739		-29,901	96%
浜松市		791,710	792,704		994	100%
名古屋市	2,083,627	2,182,154	2,294,854	211,227	112,700	105%
京都市	1,390,305	1,382,113	1,385,190	-5,115	3,077	100%
大阪市	2,481,923	2,543,137	2,741,587	259,664	198,450	108%
堺市		838,675	821,428		-17,247	98%
神戸市	1,439,399	1,512,109	1,510,917	71,518	-1,192	100%
岡山市		691,955	702,020		10,065	101%
広島市	1,087,854	1,164,654	1,184,731	96,877	20,077	102%
福岡市	1,234,443	1,422,831	1,581,398	346,955	158,567	111%
熊本市		725,005	731,476		6,471	101%

総務省「【総計】住民基本台帳人口・世帯数（市区町村別）」（各年1月1日現在）

※96年の数字は、当時政令市ではなかった都市は入っていない

※調査公開は毎年7～8月

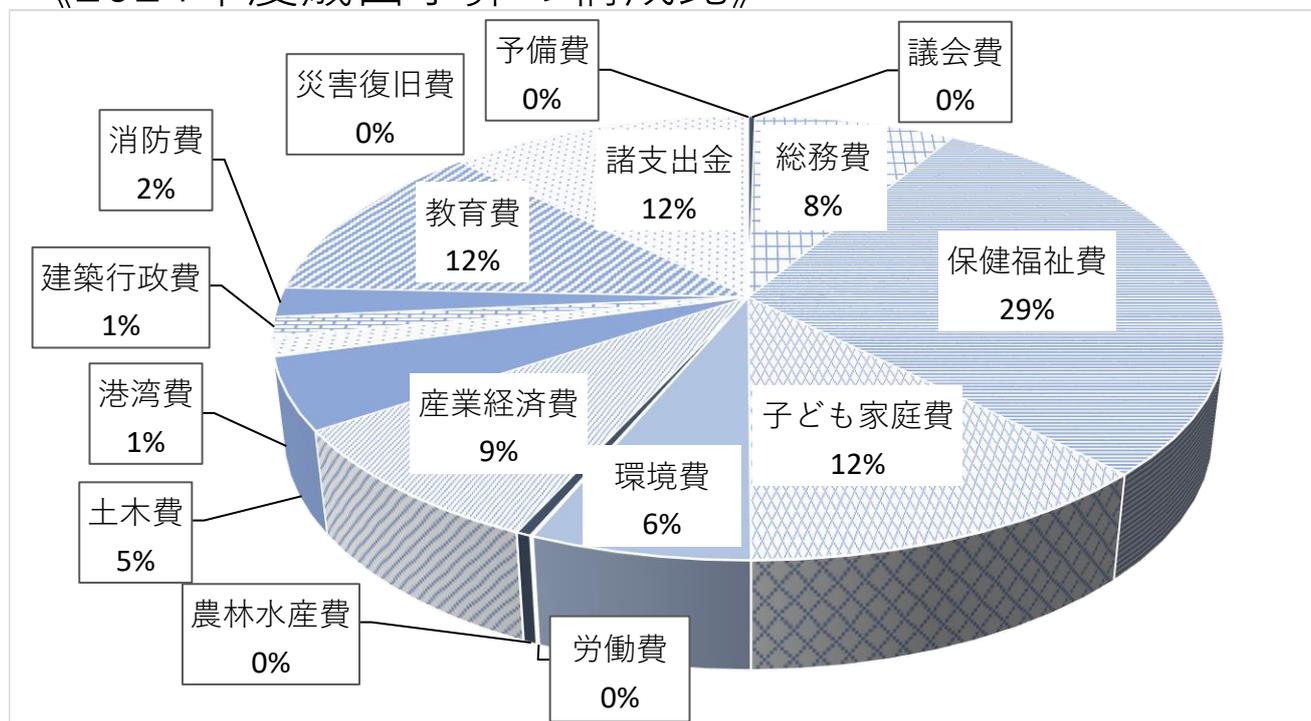
# ●北九州市の財政とその変化・特徴

## 《2024年度の一般会計歳出予算案》

(単位：百万円)

区分	2024年度		2023年度		前年対比
	当初予算額	構成比	当初予算額	構成比	
計	627,883	100.0	609,171	100.0	18,712
議会費	1,662	0.3	1,688	0.3	▲ 26
総務費	51,332	8.2	45,499	7.1	5,833
保健福祉費	183,960	29.3	181,973	25.7	1,987
子ども家庭費	76,515	12.2	73,657	11.3	2,858
環境費	39,603	6.3	24,573	2.5	15,030
労働費	470	0.1	476	0.1	▲ 6
農林水産費	2,737	0.4	2,408	0.3	329
産業経済費	55,270	8.8	62,615	19.2	▲ 7,345
土木費	32,541	5.2	34,154	5.3	▲ 1,613
港湾費	9,098	1.4	13,388	1.0	▲ 4,290
建築行政費	8,739	1.4	8,838	1.4	▲ 99
消防費	13,362	2.1	11,881	2.0	1,481
教育費	75,253	12.0	72,332	10.9	2,921
災害復旧費	1	0.0	1	0.0	0
諸支出金	77,040	12.3	75,388	12.6	1,652
予備費	300	0.0	300	0.3	0

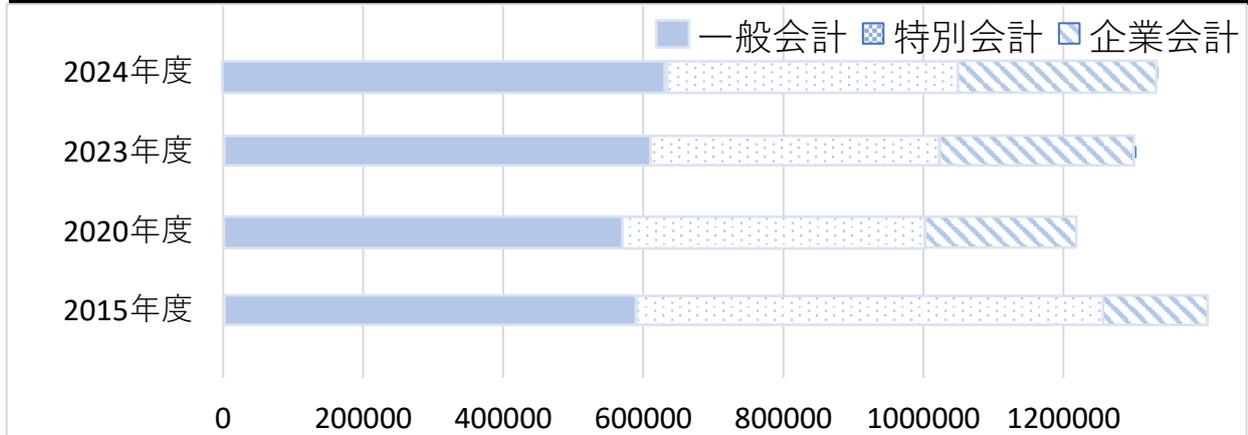
## 《2024年度歳出予算の構成比》



## 《大分類予算の推移》

(単位：百万円)

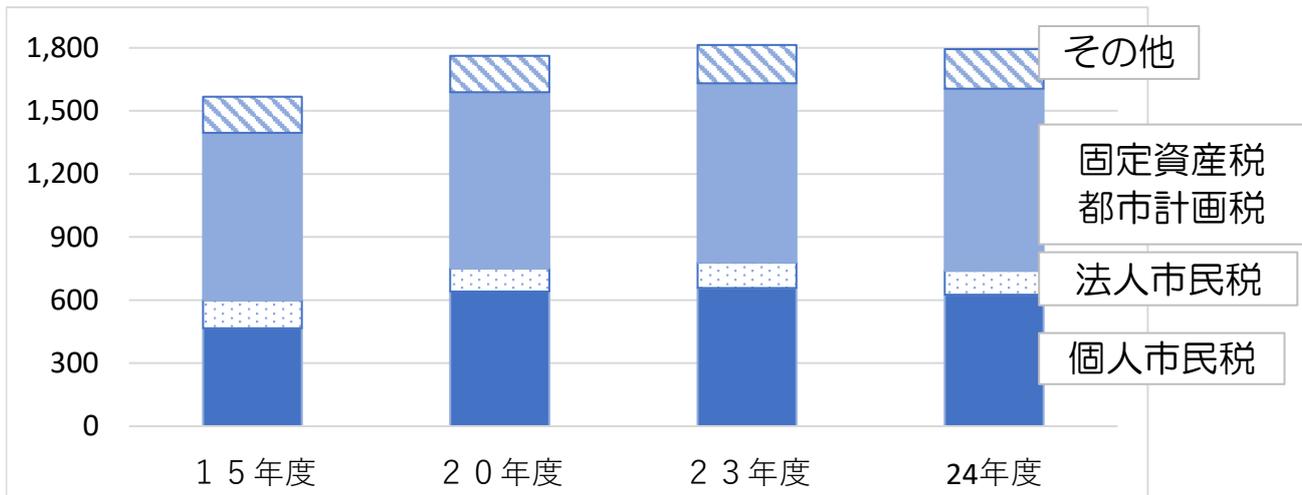
	2015年度	2020年度	2023年度	2024年度
一般会計	587,301	570,298	609,161	627,883
特別会計	674,686	424,132	421,229	422,190
企業会計	123,364	213,670	272,499	283,657
合計	1,385,351	1,208,100	1,302,889	1,333,730



2024年度の予算総額は、1兆3,337億円。一般会計予算は、中小企業融資（▲70億円）などが減少する一方、新日明工場建設事業などの投資的経費（+129億円）が増加したことなどにより、昨年度比で187億円増の6,279億円であり、過去2番目の規模となりました。

## 《市税の推移》

(単位：億円)

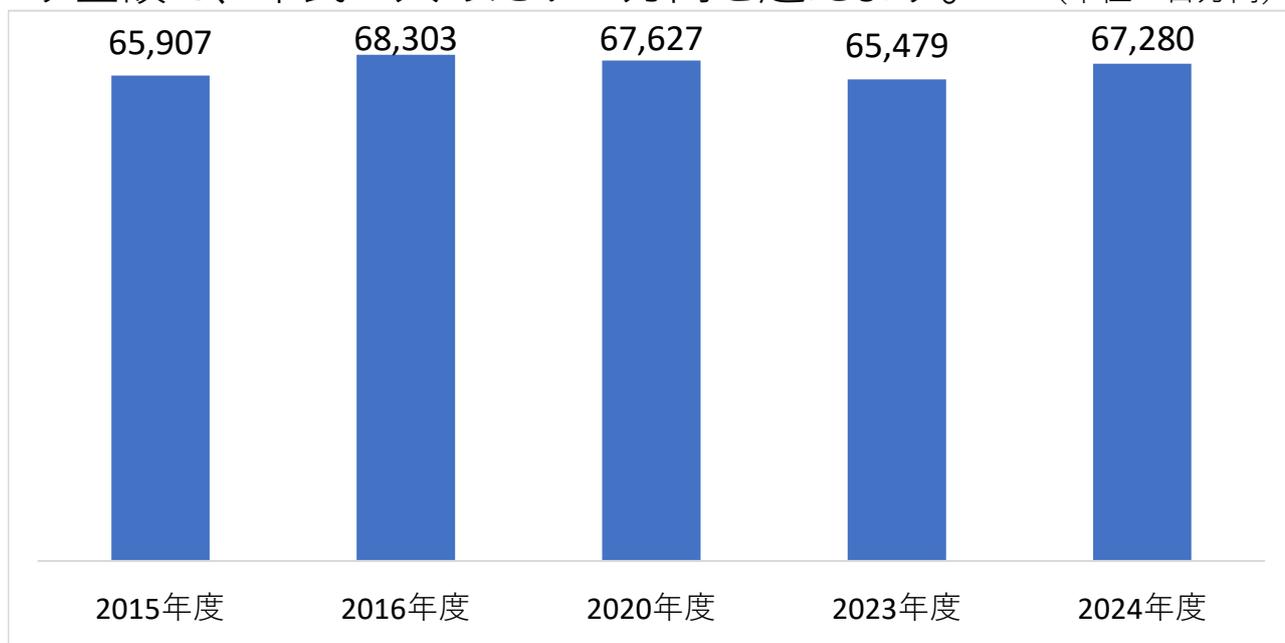


市税は、市民税・固定資産税・軽自動車税・市たばこ税・事業所税などからなり、市の収入の根源です。

2024年度の市税当初予算は1,794億円で、前年度比20億円の減となっています。税目別では、個人市民税が定額減税により33億円の減、法人市民税が6億円、固定資産税・計画都市税が12億円の増となりました。

## 《毎年度公債費（一般会計の借金払い）の推移》

2024年度の借金返済額は、一般会計だけで673億円弱です。前年度より18億円の増となっています。1年間で返す金額で、市民一人あたり7万円を超えます。（単位：百万円）

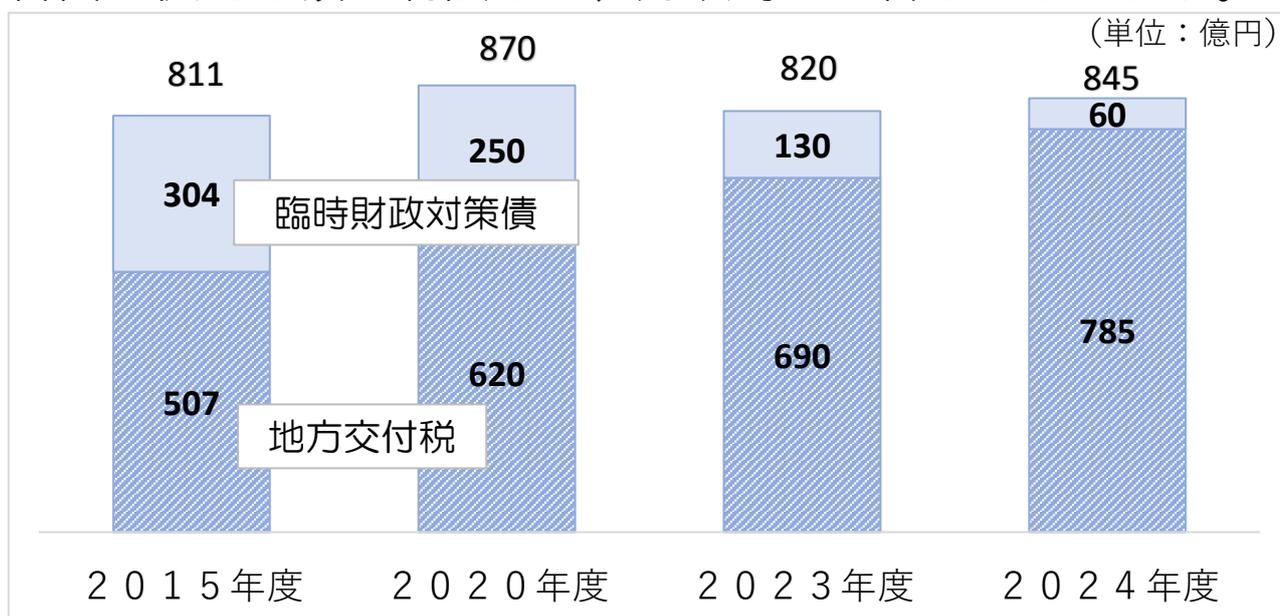


※公債費 地方債の元利償還費と、一時借入金の利息の合計。

## 《臨時財政対策債（国からくるお金）》

臨時財政対策債とは、本来地方交付税で交付されるものの一部を地方債として各地方公共団体が借り入れるもの。

この地方債の元金利償還金については、後年度にその金額が交付税措置され、比重が増せば、地方交付税で地方が自由に使える額が制限され、財政的には苦しくなります。



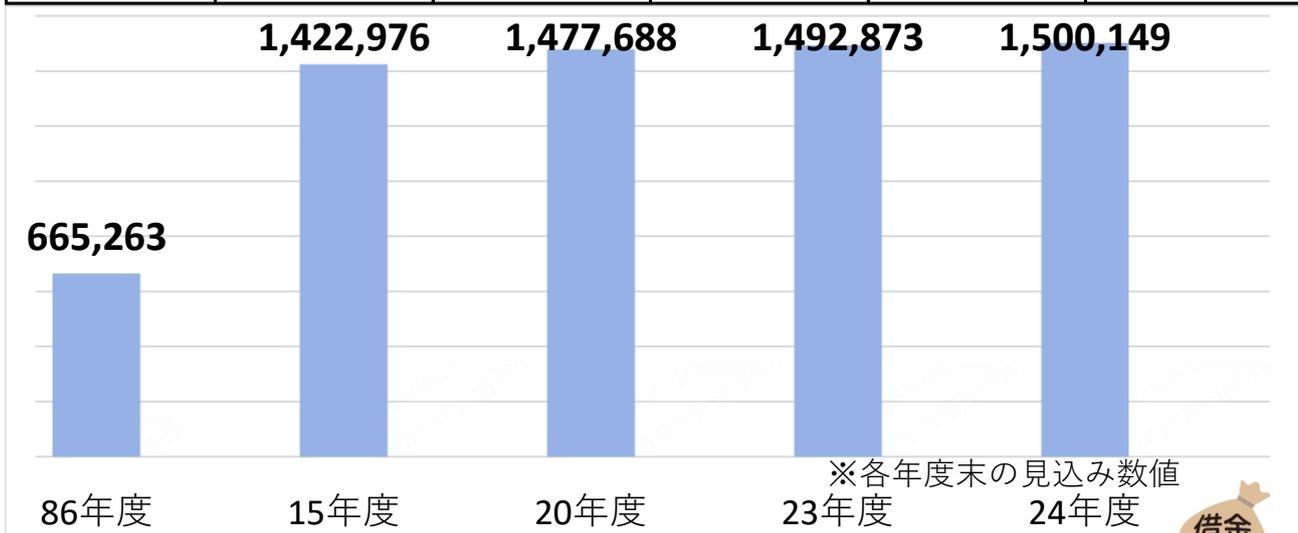
※令和3年度までは決算額、令和4年度からは予算額

## 《北九州市の市債（借金）総額の推移》

北九州市の借金（市債）は、ムダな大型公共事業を乱発してきた結果、土木債などが膨大にふくらんで、全会計で1兆5千億円を超えます。下関北九州道路が実際に建設されたら、さらに膨大な借金を抱えることになります。

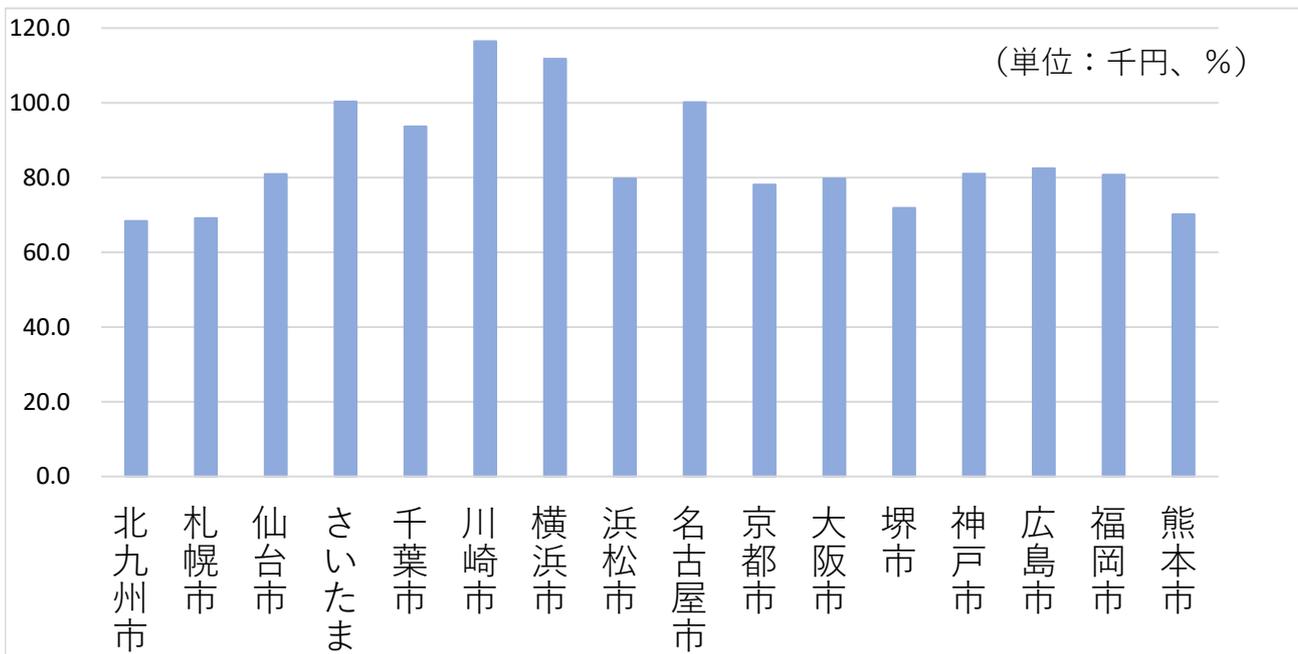
(単位：百万円)

区分	86年度	15年度	20年度	23年度	24年度
<b>総額</b>	<b>665,263</b>	<b>1,422,976</b>	<b>1,477,688</b>	<b>1,492,873</b>	<b>1,500,149</b>
一般会計	307,358	1,065,005	1,180,858	1,213,523	1,222,170
特別会計	78,097	100,967	68,472	62,213	61,148
企業会計	279,808	257,003	228,357	217,136	216,830



## 《市民一人当たりの個人市民税》

個人市民税額は、各年度の予算額を推計人口で割ったもので、北九州市の一人あたり個人市民税額は下から2番。



## ●大型開発と市の負担

《R6年度予算の各事業投資額》（単位：億円）

### ①第三セクター等改革推進債【23.2億円】

市が整備した土地を企業に売却することで収入を得る事業。令和6年度予算でも赤字であり、令和17年までの起債償還額と合わせ、毎年20億円以上を市が負担し続けています。

起債総額	起債残高	年度償還額	収入	支出	赤字
403	238.8	23.2	10.9	10.4	—

### ②ひびきコンテナターミナル（HCT）【3.3億円】

若松区の響灘に総額1,000億円で建設した大水深港湾施設。当初は民間に運用を任せたものの、船荷(コンテナ)が集まらず、約40億円で市が買い戻し、令和9年まで返済。毎年2億円前後の赤字を公金で支え続けています。

起債総額	起債残高	年度償還額	収入	支出	赤字
40	6.4	2.1	3.0	4.2	1.2

### ③ミクニワールドスタジアム北九州【3.8億円】

ギラヴァンツ北九州のホームスタジアムとして、J1基準を満たした球技専用スタジアム。スポーツ振興くじの助成金を含め、約100億円をかけて建設。完成目前にJ2から降格し、期待のJ1リーグは一度も実現していません。

起債総額	起債残高	年度償還額	収入	支出	赤字
72.4	51.7	2.5	0.4	1.7	1.3

#### ギラヴァンツ北九州への補助金【9,550万円】

・ホームゲームやアウェイへの遠征費……	3,500	万円
・ホームタウン推進事業……	4,050	万円
・ADボード広告費……	1,333	万円
・重要政策PR事業……	667	万円

#### ④アジア太平洋インポートマート（AIM）【7.7億円】

「輸入促進」をはかる拠点として**313億円**で建設したものの、計画は破綻。令和5年3月末の入居率は**94.2%**ですが、市の施設がそのうちの**35.3%**を占めており、賃料（税金）を払うことで支え続けている。

賃貸料	運営費	市予算	赤字累計
4.5	3.2	7.7	3.8

※赤字累計は令和4年度決算額  
令和10年までに市が返済します

《やめない投資》

#### ・下関北九州道路【3,500億円（予定）】

必要性が乏しく、採算性がなく、そして安全性が担保できない「下関北九州道路」の事業に固執することは、市長の掲げる「市政変革」にも反するものです。

必要性...事故などによる通行止めは2日に1回で12分間  
採算性...建設費**3,500億円**は物価高騰前の試算  
市の負担分も明らかになっていない  
安全性...想定ルートには小倉東断層が存在

予算事務事業の棚卸による見直しで、生活保護に関する予算や災害対策に関する予算等を削減する一方、HCT・AIM・下関北九州道路建設などの無駄な大型事業を「聖域」にしていることは大きな矛盾です。

赤字の大型事業を見直し、学校給食の無償化・子ども医療費の完全無償化・高齢者補聴器購入助成制度・高齢者福祉乗車券の導入、ケア労働者の処遇改善など市民生活応援の市政への転換こそ必要です。

《下北道路、市の負担はどうなる？》

1日の交通量22,200台。料金を1台280円で試算。

建設費を**2,200億円**、返済期間を**30年間**と想定すると.....

収入	返済額	赤字
23億	73億	50億

毎年数十億の赤字が発生。  
他の負債とともに、  
このツケは市民へ。

## ●補聴器購入助成制度

### 《難聴の有病率》

加齢性難聴は、日常生活を不便にし、家族や友人とのコミュニケーションが困難になるなど生活の質を落とします。また、会話することで脳に入ってくる情報が少なくなることが脳の機能の低下につながり、鬱や認知症の原因になることが指摘されています。加えて、背後からの車両の接近に気づけなくなり、交通事故に遭いやすくなる危険性などが懸念されています。

《25db以上の難聴者の有病率》

年代	男性	女性
60～64	18.8%	10.6%
65～69	43.7%	27.7%
70～74	51.1%	41.8%
75～79	71.4%	67.3%
80～	84.3%	73.3%

### 《導入自治体数とニーズ》

大阪府の年金者組合の調べによると、2022年10月31日時点では114自治体でしたが、2023年10月末時点では、237の市区町村で実施されています。

約1年で2倍以上に実施自治体が広がりました。

また、補聴器購入助成制度の導入自治体の中には、令和4年度の予算165万円に対し、令和5年度の予算が416万円と約2.5倍も増額されているところがあり、これらの導入自治体数の増加や予算の増額、全国での運動の広がりなどから、補聴器購入助成制度へのニーズの高さが伺えます。

難聴は健康を維持していく上で、決して無視できない。高齢化率の高い北九州市でこそ助成をはじめべきです。

《各政令市の高齢化率》

	高齢化率%
<b>北九州</b>	<b>31.2</b>
静岡	30.7
新潟	30.0
神戸	28.6
京都	28.5
<b>全国</b>	<b>28.5</b>
堺	28.3
浜松	28.2
札幌	28.0
<b>福岡県</b>	<b>27.9</b>
熊本	26.8
岡山	26.7
千葉	26.2
相模原	26.2
広島	25.8
大阪	25.1
名古屋	25.0
横浜	24.8
仙台	24.6
さいたま	23.2
福岡	22.2
川崎	20.1

「人口動態総覧」2023.1月分

## 《各区の特徴》

### ・新宿区：現物支給

7～8万円の補聴器を現物支給（自己負担2,000円）

5年毎に再支給（再支給までの5年間の修理費などは自己負担）

※利用者にとって満足する性能であるかは、不明

### ・港区：全国一の補助額

137,000円（課税者は68,000円）の高額助成

専門家と連携し、調整等アフターケアまで支援

※高額な助成金額とニーズの高まりで、上限額や人数抑制の恐れ

### ・山形市：介護予防事業

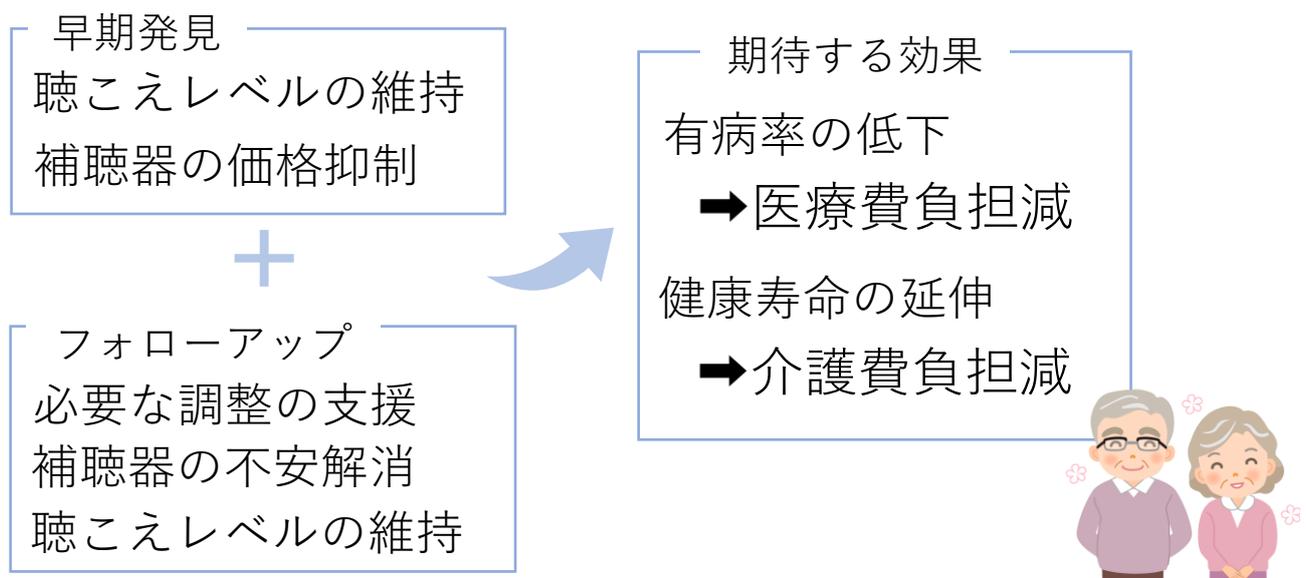
介護予防として「聴きとる能力の衰え」チェック

医産学官が連携し、早期発見～フォローアップまで行う

※ニーズの多さから予算増額したものの、予算規模は小さい

## 《理想の支援体制》

早期発見のために、広く手軽に検査できる体制。また、安心して補聴器の購入に踏み出せるように、購入後の微調整などフォローアップ体制を整えることが必要。



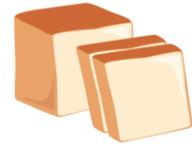
早ければ早いほど補聴器に求められる性能が抑えられるため、必要購入費が安価になります。また、健康寿命が伸びることにより、医療費や介護費といった将来的な国や市の負担を抑えることもできます。

## ●学校給食

### 《質の向上》

#### ・地産地消

現在、給食のパンで使われている小麦粉は、カナダ産、アメリカ産のものが主です。



残留農薬検査で、食品衛生法の基準をクリアしていることを確認していますが、ポストハーベスト禁止の国産小麦に変えるだけでも、品質の向上につながります。

#### ポストハーベスト



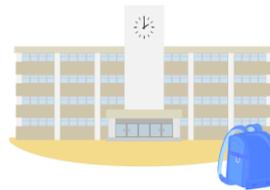
収穫後の製品に直接農薬をかけること。  
輸出入の際に虫が湧くなどを防ぐ目的がある。

#### ・有機栽培

千葉県いすみ市が、学校給食で有機米使用100%を達成。給食の残食率が13.9%⇒9.5%へ減少しました。

2012年に有機農業者ゼロから取組を開始し、2017年に有機米100%を達成し、2018年からは有機野菜の提供に取り組んでいます。

農家「所得安定」



学校

「高品質の給食」

### 《みどりの食料システム戦略》

ハードルの高い有機栽培ですが、国が学校給食での有機農作物の利用に対して交付金を出しています。

お試しでの取組の際にも交付金が出されており、国が本格的に取り組んでいる今、知らない農家への周知と交付金の活用が必要です。

### 《誰ひとり取り残さない学校給食実現へ》

アレルギーや宗教上の理由で、給食を満足に食べられない子どもたちがいます。1日でも多く、他の子と同じメニューが食べられるようにするため、献立の改善や直営で給食を提供するモデル校を作り、情報や技術を蓄積させ、幅広い対応を市に提言しています。



## 《学校給食費》

現在の給食費は右表の通りです。

例えば、小学生が1人、中学生が1人の家庭だと、月に9,700円の給食費が必要です。

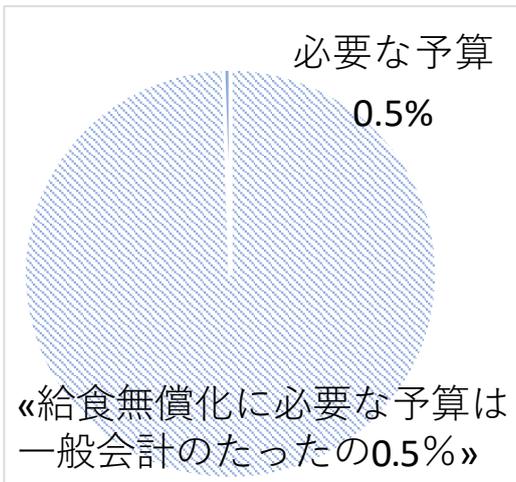
《北九州市の給食費：月額》（単位：円）

	R2.4～	H26.4～
小学校 及び 特別支援学校小学部	4,300	3,900
中学校	5,400	4,900
特別支援学校 中・高等部	5,100	4,600

## 《逆行する北九州市》

福岡県内でも、60自治体中、15自治体が無償化となり、他にも半額補助等をはじめた自治体もあります。

全国でも3分の1の自治体が無償化や何らかの補助を行っている中、物価高騰や長引くコロナ禍で苦しむ市民が見えておらず、全国の流れにも逆行するものです。



2023年12月議会では、北九州市で無償化を実施すれば、この物価高騰の折では、33億円の財源が必要と教育長が答弁しました。

確保が難しい多額の予算（約33億円）と言いますが、市の一般会計（約6,000億円）のたった0.5%の予算額で実現可能です。

## 《無償化は当然》

### ・学校給食法 第5条

「国及び地方公共団体は、学校給食の普及と健全な発達を図るように努めなければならない」

### ・食育基本法

「給食が単なる栄養補給ではなく、教育の重要な一環」

### ・日本国憲法 第26条

「すべての国民は.....その能力に応じて、ひとしく教育を受ける権利を有する.....義務教育は、これを無償とする」

本来、学校給食は無償であるべきものです。無償化の実現とともに、質の向上も同時に行うべきです。

## ●ユースステーション

### 《若者の居場所》

2013年4月に黒崎コムシティ内に開設され、中高生が学校帰りや休日に気楽に立ち寄り、おしゃべりや自習ができる施設です。バンドやダンスなどの活動ができるスタジオなど、若者が自分の持つ可能性を花開かせることのできる〈居場所〉となっています。



← 音楽スタジオ

← フリースペース

出典：北九州市公式HP

→ 多目的ホール



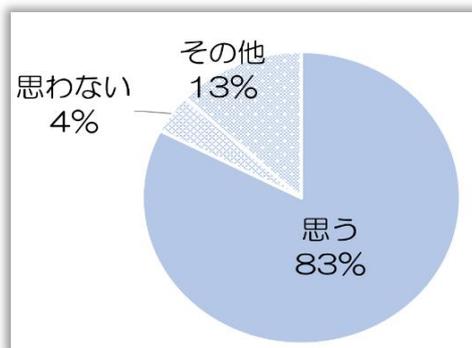
無料で友達とおしゃべりや勉強ができる交流スペースや、有料のスタジオなどが設置されています。

### 《学生の声》

現在、ユースステーションの利用者の82.3%が西部地域の中高生で、極端に偏った状況です。

「身近にあれば、利用したいと思いますか?」という、非利用者へのアンケートでも8割以上の学生が「そう思う」と回答しています。

《身近にあれば利用したいと思いますか?》



## 《各区の無料学習スペース／交流スペース》

区	用途	設置数	最遅閉館時間	土日祝利用
門司	無料自習スペース	0	—	—
	交流スペース	1	17:00	○
小倉北	無料自習スペース	1	18:00	土のみ
	交流スペース	3	21:30	○
小倉南	無料自習スペース	0	—	—
	交流スペース	0	—	—
若松	無料自習スペース	0	—	—
	交流スペース	2	17:00	○
八幡東	無料自習スペース	0	—	—
	交流スペース	1	17:00	○
八幡西	無料自習スペース	3	21:00	○
	交流スペース	5	21:00	○
戸畑	無料自習スペース	0	—	—
	交流スペース	1	21:30	土日○

### 《極端な偏り》

市は「利用可能な施設が市内に30ヵ所ある」と言いますが、無料で学習可能な施設は、八幡西区に3ヵ所、小倉北区に1ヵ所と場所に偏りがあります。

多くの中高生がお金の心配をすることなく、気楽に集まれる〈居場所〉を求めています。



### 《北九州文学サロン閉館》



「行政改革」による人件費等の削減で、小倉北区の交流スペースの1つである「北九州文学サロン」が今年（2024年）の3月31日で閉館となります。

## ●門司港地域複合公共施設



### 《門司港の遺構出土》

明治24年開業の初代門司駅舎跡が、門司港地区複合施設建設事業に伴う発掘調査によって確認されました。

全国でも確認事例の少ない貴重な遺構で、現地での保存を求めています。

### 《出土した遺構》

#### 機関車庫の基礎

イギリス積みで構築したレンガ構造物

#### 門司築港以前の護岸石垣

埋立前の丘陵裾部と門司築港前の護岸石垣

#### 門司港と門司停車場の整地土（埋立土）

護岸石垣の前面に堆積した泥の上に、築港・駅建設時の整地土・埋立土を被せている

#### 2代目駅舎時代の倉庫土台石垣

大正3年開業の2代目門司停車場時の倉庫の土台石垣

#### 初代門司停車場外郭石垣

初代門司停車場の外遊石垣（土台石垣の下部に確認）

#### 特徴的な出土遺物たち

- ・ 2代目門司駅の転車台紀年銘板（推定）
- ・ 「刻印」と呼ばれるスタンプを打った煉瓦
- ・ 九州鉄道の社標入り小椀 など

推定：転車台紀年銘板（アメリカン・ブリッジ社製）→

出典：（公財）北九州市芸術文化振興財団

埋蔵文化財調査室 発掘ニュース85号



### 《令和5年度2月補正予算》

2月の補正予算で、「建設予定地で出土した旧門司駅舎跡の鉄道遺構の移築に要する経費」として2,000万円が計上されています。市民の声や専門家の声を無視し、“一部切り出し移築”を強行する進め方は問題です。

## 《門司港地域複合公共施設整備事業》

行財政改革の重要な柱として、公共施設マネジメントの方針に基づき、門司港地域に点在する老朽化が進む複数の公共施設（市民会館・区役所・図書館など）を門司港駅周辺に集約し、複合化・多機能化することを目的とした事業。



↑北九州市HPより引用

### 《事業の問題点》

#### ①安全性（高潮浸水想定区域）

防災拠点となる区役所を建てる予定の場所は、高潮浸水想定区域内です。市は、「防災対策本部は他の安全な施設で対応する」とし、この計画地が安全でないと認めているも同然です。

浸水した際、1階図書館の本は、2階へ持っていきと市は答弁しています。

※門司港の海岸沿いでは浸水深3～5mの想定

※浸水深50cmから高潮時に避難が困難になり  
孤立する可能性がある

※指定の避難場所へ行く「水平避難」が求められる



#### ②情勢の変化（感染症の拡大による）

インフルエンザに加え、新型コロナウイルス感染症の発生により、集団感染を避けるためにも分散避難が提唱されるなど、情勢が大きく変化しました。

利用者が分散するように、公共施設の集約も見直す必要があります。



#### ③交通渋滞

多様な利用目的の方が1ヵ所に集中することにより、すでに混雑している周辺道路は渋滞が発生することが懸念されます。

渋滞が発生すると、目的地到着時間などの定時性が損なわれ、結果的に利便性が失われることとなります。



## ●人を大切にする市政に

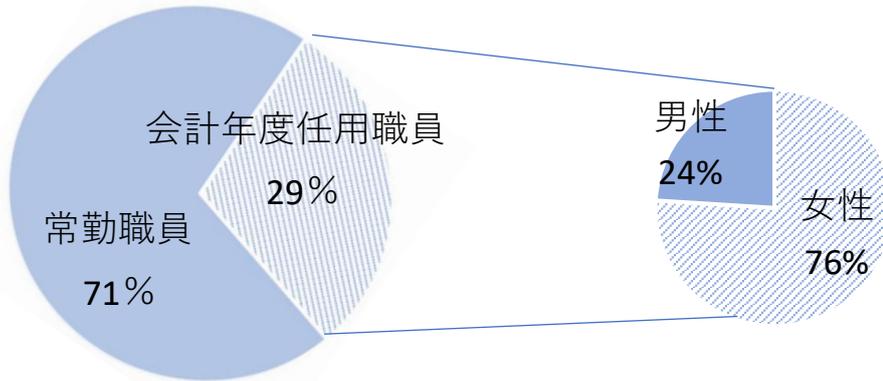
### 《公務労働における非正規職員の処遇改善》

本来、正規職員である「任期の定めのない常勤職員」が担うべき公務労働が、非正規の会計年度任用職員や再任用職員によって担われています。

本市正規職員数7,144人に対し、会計年度任用職員は2,963人。そのうち76%が女性です。

《正規雇用比率》

《会計年度任用職員》



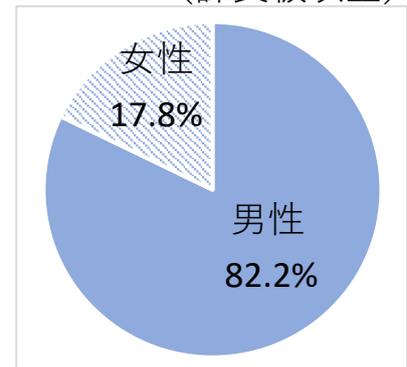
### 《男女の賃金格差》

男女同一賃金の公務員であるにもかかわらず、依然として男女の賃金格差が存在しており、男性の給与に対する女性の給与の割合は73.5%です。

その原因として、管理職等の女性割合の少なさや時間外勤務時間が男性の方が長いこと、任期の定めの有無や勤続年数の違いがあげられます。

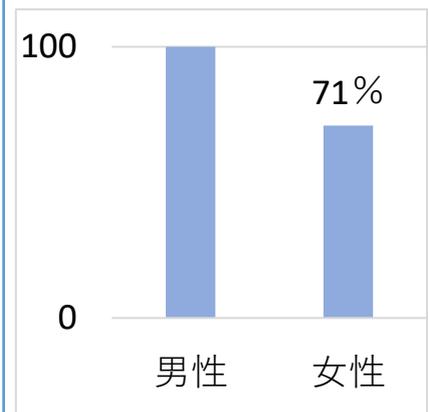
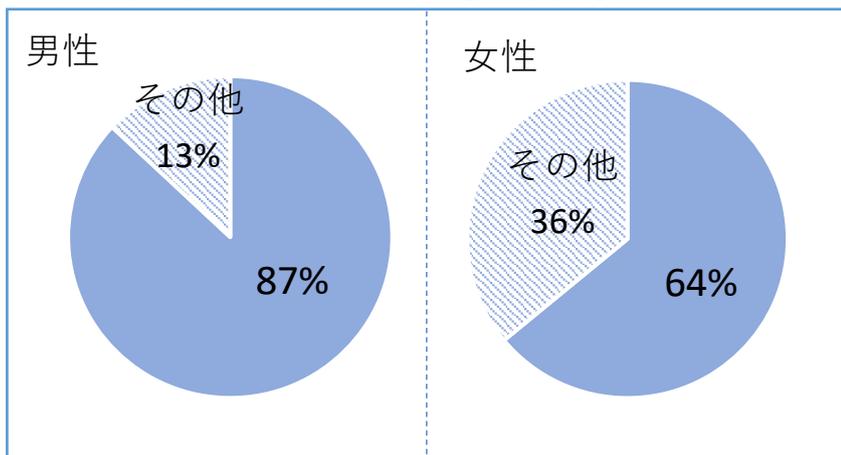
《役職者男女比》

(課長級以上)



《任期の定めのない常勤職員割合》

《時間外勤務手当における男女の差異》



## ●指定管理者制度

### 《制度の検証》

指定管理者制度は導入以来20年が経過し、制度検証を行う自治体が増加。本市では、全体の約7割が1者応募で、「十分な競争原理が働いていないから」と、「事業者にとって魅力ある持続可能な制度」にするため、民間事業者へのサウンディング調査を行いました。「市も指定管理者も稼げる参入しやすい制度」にするものです。

住民の平等な利用を保障すべき公共施設で企業が「稼ぐ」というのは、公共施設の在り方から外れています。

### 《制度の目的と問題点》

指定管理者制度の謳い文句は、公の施設の管理を民間に任せ、多様化する住民ニーズに効果的・効率的に対応し、「経費の削減と住民サービスの向上」というものです。利益をあげようとすれば、当然人件費を抑えるしかありません。

総務省通知で、「指定管理者が労働法令を遵守するのは当然である」としていることをもって、本市は指定管理者の従事者の処遇改善について関わろうとしません。

指定管理者における雇用状況等調査を実施し、指定管理者の従業員の処遇改善には、公契約条例が必要です。

### 《若松図書館で不正》

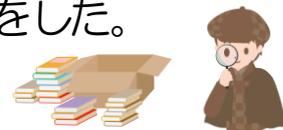
教育委員会も市当局も、制度の問題ではないと強弁していますが、管理者の毎年度の評価シートには、貸出者数・貸出冊数等の数値目標と達成率の欄があります。若松図書館での不正行為は、起こるべくして起こったと言えます。

不正を行った会社は次期指定管理者に選ばれませんでした。これで一件落着ではありません。

図書館に指定管理が適切なのか、検証が必要です。

#### □不正内容

2022年11月～2023年3月  
社員やその家族の図書館カードを使用した不正。  
貸出と返却の処理を繰り返して、2万216冊の貸出実績の水増しをした。



#### □動機

入館者数や貸出冊数が伸びず、来年度の指定管理契約が更新されないと思った。

## ●市民の安全を優先に

### 《PCB処理事業》

北九州PCB廃棄物処理工場は若松区響町にあり、平成16年から事業を開始。変圧器やコンデンサーなどの大型機器の処理を終え、安定器等汚染物の処理が行われていました。

PCBの処理を巡っては、環境省のずさんな数量管理によって、処理期限が2年延長された経緯があります。

- ・令和6年1月31日に北九州エリアの処理は完了。
- ・来年度から工場を解体、執務室等を移転。
- ・今後も、年1回「監視会議」を開催。



### 《発覚した問題》

今回、沖縄県の米軍基地で使用のPCB廃棄物が、若松の処理工場に持ち込まれ処理されていたことが判明。

日米政府は、2002年に在日米軍基地のPCB汚染機器の撤去を含む環境問題への取り組み強化で合意し、政府は2012年に国会で「順次、米本国へ搬出され、処理・廃棄されている」と答弁していましたが、遅くとも2019年度から日本国内で処理が行われ、なおも未処理の保管量は数トンにも及ぶことが明らかになりました。

本来、米国で処理されるべき廃棄物が若松に持ち込まれたことで、処理期限の延長つながったのではないかという疑問が残ります。実際に米軍基地から持ち込まれた数量を明らかにしていない点から不信感を持たざるを得ません。また、1キロ当たり約3万円かかる処理費用を日本が肩代わりしていたことになり、今後、国会において環境省、防衛省の責任追及が必要です。



#### ※Poly Chlorinated Biphenyl (ポリ塩化ビフェニル)

人工的に作られた、主に油状の化学物質。特徴として、水に溶けにくく、沸点が高い、不燃性、電気絶縁性が高いなど、化学的にも安定な性質を有することから、電気機器の絶縁油、ノンカーボン紙など様々な用途で利用されていた。現在は製造・輸入ともに禁止されている。

1968年(昭和43年)に食用油の製造過程において熱媒体として使用されたPCBが混入した食中毒事件(カネミ油症事件)で、西日本を中心に広域にわたって健康被害が発生した。

脂肪に溶けやすいという性質から、慢性的な摂取により体内に徐々に蓄積し、吹出物、色素沈着、目やになどの皮膚症状のほか、全身倦怠感、しびれ感、食欲不振などの症状を引き起こすことが報告されている。

## 《白島国家石油備蓄基地》

国民保護法では、白島石油備蓄基地の安全対策は県の「石油コンビナート等防災計画」に準じるとされています。しかし、この計画は災害が起きた時でも石油備蓄基地の泊地内で完結することが前提となっています。

外的要因によって泊地の外に災害が及んだ場合、周辺住民に被害が及ぶことが想定されますが、その対策も計画も周辺住民を守る法的根拠がありません。

泊地の外に560万リットルの原油が漏れ出し、引火すれば周辺住民への被害は避けられません。しかし、そうした最悪のシナリオを想定せず、その対策などできるはずもなく、人命を守るための危機管理としては不十分です。

被害を想定し、その対策を周辺住民に周知すべきです。

### 《白島国家石油備蓄基地》

- ・響灘の沖合8キロ
- ・世界でも例のない外洋（陸地に面する部分がない）の洋上備蓄基地
- ・貯蔵船の大きさは、長さ397m×幅82m×高さ25.4m
- ・一隻の貯蔵能力は70万KL
- ・貯蔵船は8隻有しています



## 《石油備蓄基地での出来事》

2022年6月20日～9月30日

初めて実施した28万リットルの石油放出（行先不明）。

「テロの被害であるとか、武力行為による被害、こういった想定の有無を含めて市の方では知らされていない」として、周辺住民への周知なしで作業を行いました。

1987年2月

工事中に低気圧の襲来で、8割以上完成していた北防波堤・東防波堤を中心に決壊。

この低気圧を“天災”に位置づけ、被災時のデータ等を基に、安全性を確認したとして、工事再開を強行しました。



## ●危機管理

### 《自然災害対策》

洪水や土石流などの土砂災害と合わせて、その「激甚化」が大問題になっています。近年は停滞した梅雨前線のもとで線状降水帯が発生し、過去に記録がない規模・密度の持続的降雨による災害発生が急増し、地震（東日本・能登）による被害も深刻化しています。

深刻な事態に至る前に、いかにして速やかに住民の安全を確保するか、豪雨災害や地震など甚大な被害が発生するたび、地方自治体・行政の対応が問われています。

#### 2023年の災害をもたらした大雨（国内）

6月28日～7月16日

- ・梅雨前線
- ・九州北部地方を中心に、西日本から北日本の広範囲
- ・線状降水帯の発生  
山口県、熊本県  
奄美地方、島根県  
福岡県、佐賀県  
大分県、石川県  
富山県
- ・記録的な大雨  
秋田県

9月7日～9月9日

- ・台風第13号
- ・関東甲信地方や東北太平洋側
- ・線状降水帯の発生  
東京都、千葉県  
茨城県、福島県

6月1日～6月3日

- ・梅雨前線及び台風第2号
- ・西日本から東日本の太平洋側
- ・線状降水帯の発生  
高知県、和歌山県  
奈良県、三重県  
愛知県、静岡県

1時間に80ミリ以上の猛烈な雨が降った所があった。これらの地域では1時間降水量が観測史上1位の値を更新した地点があったほか、総降水量が1,200ミリを超えた地点や平年の同月の月降水量の2倍を超えた地点も。

※非常に激しい雨（1時間の降水量が50mm超）が降る回数が増えており、約30年前と比べて約1.4倍に。今後さらに増加すると予測されている。

### 《地域と連携した避難所開設・運営モデル事業》

重要なのは、行政の責任で、地域住民との連携を強化していくことです。感染症対策等にも十分配慮しつつ、各区の防災訓練を加速させる必要があります。

また、夏の異常気象（猛暑）や新たな感染症にも留意し、避難所となる学校体育館への空調機（エアコン）設置など、避難所の機能の充実も必要です。

## 《これからの感染症対策》

政府は、国民の命や健康に重大な影響を与えかねる恐れがある感染症の発生時に、国が実施する措置をまとめた「新型インフルエンザ等対策政府行動計画」の見直しに向けた準備作業に着手しました。3年以上にわたる新型コロナウイルス感染症の対応を検証し、国の計画を初めて抜本的に見直します。見直しの対象となるのは医療提供や検査、ワクチン接種の体制のほか、感染症対策物資の備蓄、初動態勢の在り方、国内外の情報収集など多岐にわたります。

本市においても、福岡県が策定する予防計画に即し、「北九州感染症予防計画」の作成を2024年4月1日施行に向けて進めています。

一方で夏休み以降のインフルエンザ感染の拡大や、くすぶり続ける新型コロナウイルス感染等、感染状況も例年と様変わりしました。

市民生活や事業所などへ多大な影響をもたらす感染拡大は、本市の経済成長にとっても深刻です。

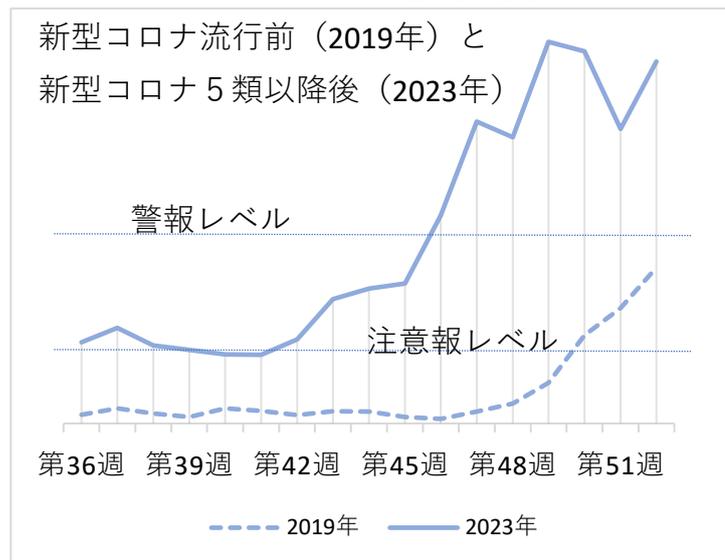
「感染症発生状況の的確な情報提供・積極的疫学調査による状況把握・医療機関や高齢者施設等との連携・国や県との連携体制」等々、課題は山積しています。

## 《保健所の増設を求める》

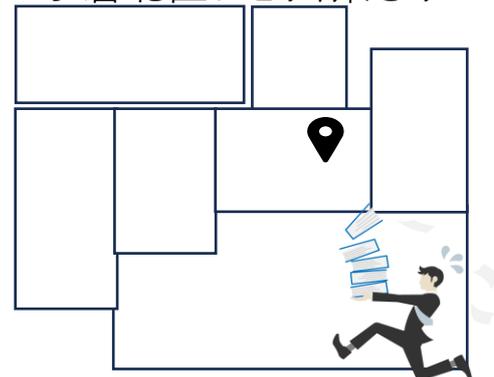
次の感染症危機に備え、医療逼迫を防げるかどうかを考えると、保健所の体制強化と増設は必要です。

現在、市内には1カ所しかなく、福岡市も7カ所（各区1カ所）から1カ所へ統合（減らす）方針を示しています。

### 《インフルエンザ流行状況》



### 《北九州市の保健所 小倉北区に1ヶ所だけ》



# ● 「戦争する国づくり」 敵基地攻撃能力の保有 《土地利用規制法》

- ① 軍事施設の周辺1キロを「注視区域」に指定。自治体に土地・建物の利用者の個人情報を提供させ、国が必要とした場合、土地・建物の利用者らに報告や資料提供を求める。
- ② 軍事施設などの「機能を阻害する行為」やその「明らかなおそれ」があるときは、政府が土地・建物の利用中止を勧告・命令。
- ③ 司令部など重要度の高い施設周辺を「特定注視区域」に指定。200平方メートル以上の土地・建物の所有権などを移転・設定する契約には、国への事前届けを義務付ける。
- ④ 政府は「機能を阻害する行為」防止のため、土地・建物の買い取りを提起できる。

《違反した場合》

30万円以下の罰金

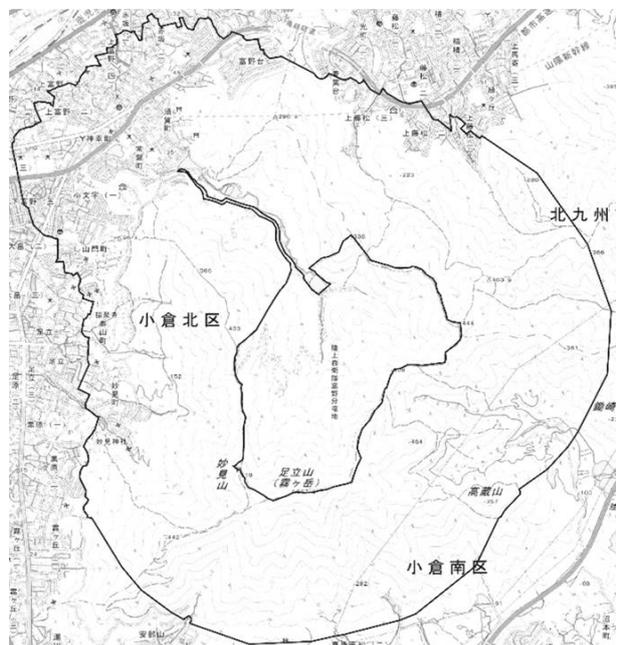
2年以下の懲役  
または、200万円以下の罰金

半年以下の懲役  
または、100万円以下の罰金

## 《注視区域》



北九州市でも、「自衛隊小倉駐屯地」「富野弾薬支処」の周辺1キロメートルが「注視区域」に指定されました。



詳しくはコチラ⇒  
内閣府ホームページ



## ✕ 財産権の侵害

「区域」指定により、不動産価格が下落し、所有者に損失が出る可能性があります。政府は「土地の所有者等が受任しなければならない程度のもので補償はしない」と回答しています。

## ✕ 監視社会の始まり

政府が「機能阻害行為」と判断するには、住民を日常的に監視する必要があると、地域住民から情報提供を受ける窓口をつくるとしています。息がつまるような、密告奨励「相互監視社会」になりかねません。



「機能阻害行為」について、今回の法律は具体的な規定がありません。判断は政府次第。

## ✕ プライバシー権の侵害

政府は調査事項を土地・建物の利用者の「氏名・住所・国籍等」と「利用状況」としてはいますが、国会のチェックなしに調査範囲の拡大ができます。思想・信条や所属団体、家族・友人関係まで調べられる可能性も。

## ✕ 5年後の見直し

法律の附則第2条により、施行から5年で必要な見直しをすることになっています。国会審議では、「1キロを3キロ」という与党などの求めに政府も同調。また、国による強制的な土地収用も検討しています。

### 《住民説明の実施を》

地方自治体から住民説明会の実施を求める意見が国へ出されていますが、政府は「実施は考えていない」と拒否しています。住民や自治体の意見も聞かずに、勝手に区域指定する姿勢は強権的です。

### 《自衛隊基地の強靱化政策》

自衛隊基地強靱化に関しても、市長は防衛力の強化を進める政府の立場と「軌を一にしている」、防衛は「国の専管事項」として国任せの姿勢です。

住民の命と安全を守るのは「市長の専管事項」です。相手国を攻撃すれば、報復攻撃を受けるのは北九州市民です。

## ●市場火災

### 《市場・商店街火災（1985年以降）》

年	区	場所	m <sup>2</sup>
1985	八幡西	黒崎3丁目	1,120
1986	八幡東	中央町商店街	906
1986	戸畑	岡田市場	1,674
1987	八幡西	折尾中央市場	1,081
1988	小倉北	黄金町市場	1,153
1989	門司	東門司商店街	2,301
1995	戸畑	旭町商店街	1,731
1996	小倉北	魚町3番街区	3,772
1996	小倉北	京町木造商店街	1,291
2001	八幡東	中央町商店街	818
2001	戸畑	戸畑中央市場	982
2002	八幡東	中央町商店街	965
2011	小倉北	中原市場	780
2011	小倉北	富野市場	3,045
2012	小倉北	魚町サンロード	約180
2012	若松	あやどり市場	1,546
2012	小倉北	赤坂市場	323
2013	八幡東	八幡中央商店街	681
2014	小倉北	魚町銀天街	1,612
2016	八幡東	祇園町	1,626
2022	小倉北	旦過市場	1,924
2022	小倉北	旦過市場	3,328
2024	小倉北	鳥町食道街	2,730

※北九州市「消防年報」などから作成。

鳥町食道街の火災は、市政史上4番目の規模となり、  
旦過市場の2度目の火災に匹敵する被害となりました。

## 《市内の商店街・市場火災（1985年以降）》

北九州市では、商店街や市場火災が1985年から2024年までの39年間で23件も発生しています。約1.7年に1回の割合で火災が起きている計算です。

2024年1月3日の鳥町食道街を中心とした火災では、約2,900㎡を焼損。85年以降の焼損面積は、約3万6000㎡に達します。これは小倉駅前のビル（＝セントシティ）の底地面積のおおよそ3個分にあたります。

なぜ、商店街火災が2年に1度の割合で発生するのか。背景に何があるのか。その教訓と対策を引き出すことは、市の発展にとって喫緊のテーマです。

## 《簡易型自動消火装置設置へ費用補助》

相次ぐ商店街の大規模火災を受け、市は密集する木造商店街の飲食店に簡易型自動消火装置の設置費用を9割補助することを決めました。対象は「特定消防区域（魚町・旦過・枝光）」が対象で、予算額は900万円（約170店舗分）です。

### 《京都の事例—先斗町》



花街文化を継承する歴史的町並みが残る京都市先斗町で2016年7月、飲食店火災が発生、5棟が焼失しました。

同町では、設置基準を下回る小規模木造飲食店等に火災報知器の設置指導などをしてきましたが、この火災を受け「火災対策ネットワーク会議」を開催し、新たに規定を追加しました。



—新たに追加された規定—

具体的な計画により事前に消防署へ相談すること

1厨房・1台所につき消火器を設置すること

先斗町の事業者や居住者は防災訓練に参加すること など

また、地域団体、消防、警察が一体となって、防火・防犯指導を連携して行うなど「安心・安全のまちづくり」と「風情ある景観を守るまちづくり」に取り組んでいます。

## ●実現・前進したもの

### 《実現したもの》



- ☆雨水貯留管の設置【予算：86億円】  
浸水被害のあった宇佐町、大田町の豪雨災害対策として
- ☆第2子以降保育料無償化【予算：8億3,236万円】  
議会で求めていた通年での無償化に
- ☆病児保育施設利用料の完全無償化【予算：2,270万円】  
無償化対象外だった施設も無償化に
- ☆市の委託病児保育施設の増設【予算：4,460万円】  
市の委託病児保育施設がなかった戸畑区に1カ所新設
- ☆放課後児童クラブ長期休暇等利用支援事業【予算：1,100万円】  
求めていた朝8時からの受け入れが実現
- ☆感染症対応力向上事業【予算：400万円】  
平時から、新型コロナ対応における課題を踏まえ、  
次の健康危機に備えて感染症対応力の向上を図る
- ☆簡易型自動消火装置設置補助事業【予算：900万円】  
木造商店街密集地域等にある木造飲食店の防火対策として、  
簡易型自動消火装置の設置を補助する
- ☆保護犬ねこ不妊去勢サポート事業【予算：300万円】  
動物愛護団体等が負担している不妊去勢手術の費用を助成
- ☆市営住宅にゴミステーション設置  
カラスに荒らされないボックス式ゴミステーションを設置
- ☆重度障害者タクシー料金助成事業の見直し  
利用期間枚数が、月4枚から四半期で12枚に変更
- ☆自閉・情緒特別支援学級の設置  
広徳中学校、板櫃中学校に設置  
今後も市内すべての小・中学校に設置することを求めています
- ☆労働ハンドブックの記載追加  
学生向けの労働ハンドブックに「生理休暇」についての記載を追加

## 《前進したもの》

### ☆女性のはたらく応援事業【予算:507万円】

家庭と仕事の両立や勤務時間の制約など女性特有の課題など、女性のカリヤ形成支援等、女性のはたらく環境支援に一步前進

### ☆公共施設老朽化対策

法定点検の打診に、ドローンによる赤外線点検の追加補修工事をHPで公表

### ☆『女性のヘルスケア』取組強化

「女性の健康検定」を市幹部職員全員が受験・合格  
女性のヘルスケアに関する「官民合同研修」の実施

### ☆『北九州市学校給食献立委員会』

「誰でも食べられる献立を研究する」と前進  
ムスリムの方が一日でも多く、給食を食べられるように、鶏肉を使用した調理・メニューを検討中(2024.2.14 現在)

### ☆学校の施設環境の改善

学校ウォッチングを通じて、悪影響(カビの原因)である竹林の伐採

### ☆市営住宅の収入申告免除

書類申請で、認知症などの方は申告の免除が可能に



## 《可決した意見書》

2023年6月議会

☆学校給食の無償化を求める意見書:共産党提出(反対:維新)

☆奨学金返還に関する

負担の軽減を求める意見書:ハートフル提出(反対:維新)

☆保育士配置の充実等を求める意見書:ハートフル提出(共産党と一本化)

2023年9月議会

☆「地球沸騰化」の深刻な警告を受け止め

対策強化を求める意見書:共産党提出

2023年12月議会

☆ガザ攻撃中止と即時停戦のため、各国・国際機関に

強く働きかけることを求める意見書:共産党提出(反対:維新)

☆旧統一教会の被害救済の実効性ある財産保全の

法整備を求める意見書:共産党提出(反対:井上しんご)



団長

# 荒川 徹

保健福祉委員会

- 氏名 荒川 徹
- 生年月日 1953（昭和28）年7月16日（70歳）
- 学校 福岡県立戸畑高等学校（24回生・野球部OB）  
北九州市立大学・外国語学部米英学科
- 職歴 公益財団法人・健和会元職員
- 経歴 福岡県民主医療機関連合会理事  
中原小学校PTA会長  
北九州市環境審議会委員
- 現在の役職・担当 現在9期目（党市議団長）  
保健福祉委員会委員
- 家族構成 妻、二男、一女、義母
- 趣味 旅行（温泉めぐり等）  
スポーツ（ソフトボール、ハイキング）

35歳で議会に送っていただいてから35年、人生の半分を北九州市議会議員として、市民のみなさんの声を議会に届け、くらしと福祉を向上させ、市の経済を発展させるために活動してきました。

特に思い出深いのは、負担が重い国民健康保険料の引き下げを求めて、多くの団体、市民のみなさんとともに2度にわたって取り組んだ条例改正の直接請求運動です。また、介護保険料の負担軽減や介護サービス充実、介護事業所の経営を守り、スタッフの処遇を改善することを、市議会で繰り返しこだわって質問してきました。若戸大橋の無料化を求めて、最高裁まで争った裁判闘争も思い出深いものです。

毎週、JR戸畑駅前に立って市政の報告や、党の政策を訴えています。

これからも、日本共産党の原点である「住民の苦難軽減」のために市民のみなさんとともに全力を尽くす決意です。



副  
団  
長

# 藤沢 加代

教育文化委員会

## 8人から10人の市議団復活へ

夫以外誰1人として知らない北九州市にやってきて44年。「あんな男尊女卑の強い九州になぜ行くの？」と言われたことを思い出す。「いえいえ、北九州の女性は強いですよ」と反論したい。この地で2人の子どもを育て、また夫と2人暮らしに戻った。いつの間にか市議になって、いよいよ6期目最終年にさしかかった。

市議会で2番目の年長議員となり、わが党市議団では最年長となった。私のために市議団副団長のポストを作ってもらった。これまでは、誰かにお任せしていればよかった。ところが、そうはいかないと、自覚するようになった。

「白島」と言っても、行ったことのある議員の方が少ない。それだけにきちんと伝えておかななくては、という自覚も高まったが、同時にストレスも高まっている。

子育て支援、教育、文化、環境、地域の公共交通、人権同和行政の改善など、多岐にわたって関心を持ち取り組んだ。小倉南図書館も実現でき、特に中学校給食実現は親子方式という制約があるが、子どもたちの体力も学力も向上している。

この数年、城野遺跡と八幡市民会館の保存も市民と共に粘り強く取り組んでいる。まだまだ課題は残るが、北九州市議会がまともに機能しているのは、わが党市議団の力があるからだと自負してきた。

しかし、私にとって当たり前だった10名の市議団は、今8人である。女性議員も3名から2名に減った。議席占有率も17.5%から14%に下がった。6つの常任委員会の複数配置が4から2に減っている。

残りの約1年、任期満了まで頑張ります。



幹  
事  
長

# 山内 涼成

議会運営委員会 建設建築委員会

1965年9月1日生まれ。おとめ座、B型。妻と娘2人。

高校を卒業後に製鉄の下請け企業に就職し、千葉県君津市に配属された。重機オペレーターや大型ダンプ、トレーラーなどの免許を取得し必死で技術を磨いたが、今思えば常に危険と隣り合わせの現場であった。全国から集まった先輩から様々な経験談を聞くこともでき、私にとっては貴重な4年間であった。

その後、北海道の先輩のつてを頼ってあこがれだった牧場の実習生として酪農を経験。トラクターや大型免許、けん引免許もあって、即戦力で重宝されたが、厳しい気候と将来不安、母親の病気悪化などもあり2年余りで挫折し北九州市に帰郷。

エフコープ生協で働きながら大型2種免許を取得し、北九州市交通局（市営バス）にスペースワールド開業に伴う嘱託運転者として採用される。まもなく、正規職員として採用となり、労働組合運動に傾注。青年部長時代、1995年の米兵による少女暴行事件が発生、沖縄の歴史と現状を学ぶことを目的に沖縄平和行進への参加を提起。以降、15年間後輩に引き継ぐために参加し続け、沖縄平和行進本土代表も務めた。

労働組合書記長に就任後は、全国で公営バスが民営化されていく中で、北九州市においても、その圧力にどう抗うかが運動の中心となった。コストカット型の経営を強いられ、運転手部門は嘱託職員が9割を超える。さらには、正規職員の給与を10%カットするなど、労働組合幹部としては忸怩たる思いでいっぱいだった。

しかし、民間の交通事業者も乗客の減少に歯止めがかからず、路線縮小や労働環境の悪化など経営に行き詰まる中で、必ず公営事業者として必要とされる時が来ると信じて組合員とともに耐え続けている。

市議会議員になって10年目となった。これからも、公営バス事業者が果たすべき役割を探求し、交通政策に位置付けるために頑張りたい。



政調会長

# 大石 正信

総務財政委員会

- 1958年（昭和33年）10月26日生まれ。65歳。  
出身は佐賀県基山町。  
立命館大学卒業

- 市議会議員5期18年  
富野校区まちづくり協議副会長  
富野児童クラブ運営委員長  
保護司



私は、立命館大学の夜学で学び、日本共産党と出会ったことが自分自身の財産です。2005年、田村貴昭衆議院議員の後を受け継ぎ市会議員5期18年になります。

途中4年前に、市議を辞任して小倉北区から県会議員選挙に立候補しましたが、残念ながら落選し、3年前に市議に再挑戦し、当選することができました。

日本民主青年同盟の福岡県委員長を卒業し、北九州市職労の書記として11年間働いてきました。その時、行政の仕組みや労働組合運動について、多くのことを学ぶことができました。

また、旧小倉陸軍造兵廠・給水塔保存の運動を通じて、公設の平和資料館を市に求め、令和4年4月19日に「北九州市平和のまちミュージアム」として実現しました。



陸上自衛隊富野弾薬庫の調査、富野学童保育設立の運動、町内会やPTA活動など平和運動や住民運動を通じて多くの皆さんとつながりができたことも大きな財産です。



# 高橋 都

経済港湾委員会

「わたしの“がんも”は美味しい」



門司区で生まれ育ちました。高校卒業後、実家を離れ、専門学校へ進み就職、結婚、子ども4人出産。20年ぶりに親の介護のために実家に戻り、家業の豆腐屋を継ぎました。

中小業者にとっての消費税や規制緩和による大型店舗進出に厳しい営業を強いられるようになり、お客様には評判のお店でしたが廃業しました。

その間、中小業者の仲間と消費税廃止や家族従事者の働き分を認めるための所得税法56条廃止の運動、母親運動、平和運動を通し、政治を変えなければ平和も暮らしも良くなないと確信しました。

## 【現在の取組】

### ●中小業者支援

大企業優先の自民党政治はコロナ、物価高騰、更に昨年10月からのインボイス制度と困難を抱えた中小業者をますます倒産廃業へと追いやっています。

事業者に寄り添った支援・融資が必要です。

### ●公共施設マネジメント

北九州市は2016年公共施設マネジメント基本計画で市内の公共施設を40年間で20%削減する方針を打ち出しました。その中でモデルプロジェクトとして門司区大里地域と門司港地域で、統廃合や複合化がすすめられています。議員になって2期7年、市民合意なしに計画は進めないこと、市のまとまった土地を民間に売却しないこと、災害の危険性のある所に公共施設建設をしないことなど、本会議だけでも19回、質問をしてきました。

今、門司港駅横に初代門司港駅舎跡の遺構が出土して新しい展開になってきています。この遺構の保存活用を求めています。

### ●老朽空き家問題

老朽空き家除却促進事業の補助率を上げ、予算を増やすこと、他都市で行っている固定資産税の減免を提案しました。



# 出口 成信

環境水道委員会

1960年6月29日生まれ（63歳）、A型。  
妻と2人暮らし、息子24歳。

中学時代ドラムをはじめ、高校卒業後、地元ダンスホールに就職。1980年代、キャバレーやダンスホールが相次ぎ閉鎖する中、ジャズ演奏で各地のライブハウスを回りました。ただ演奏だけで生活するのは厳しく、足場トビや長距離トラックドライバーをやりながら大好きな演奏を続けました。その時の経験は建築現場やトラック業界の危険で過酷な労働を経験する貴重な体験となりました。

市議員となり、新型コロナウイルスの感染拡大は仲間のミュージシャンやお世話になったライブハウスなど、多くの芸術・文化を存続の危機に追い込みました。でも皆さん、コロナ禍、多くの皆さんが、音楽など芸術文化に癒され、落ち込んだところを救われたのではないのでしょうか。私は議会で何度も支援・援助を訴えました。

関西では、万博を隠れ蓑にIR=カジノを誘致すべくインフラ整備に多額の税金をつぎ込もうとしています。かつて小倉駅の北口にIRを誘致しようとする動きに対し、その違法性や依存性を訴える市民団体の陳情など市民と日本共産党の共同の力が、IRを白紙に追い込みました。

これからも、国民の苦難軽減とともに、本市の税金の無駄遣いをチェックする、市議会議員として頑張ります。





# 伊藤 淳一

保健福祉委員会

民医連健和会へ入社した1971年の6月に行われた第9回参議院選挙が初めて参加した選挙です。

その後、“民主青年同盟（たんぽぽ班）”の立ち上げに参加し、その年の12月に共産党に入党しました。20歳の時の出来事です。高校生の時に我が家へよく来られていたおじさんの戦争体験、時には奥さんの体験もよく聞いていました。このご夫婦が「田代文久夫妻」と分かったのは、随分と後になってのことです。

翌年1972年4月、民医連の臨床検査技師学校（東京都板橋区）に入学し、教務主任（英語教師）から新入党员教育を受けました。美濃部革新都政の時代です。学生5・6人で赤旗新聞（日刊紙）の地域配布を担当していました。朝の早起きには苦戦しましたが、遅配欠配が一度もなかったことで全員が表彰されました。

東京在住時は、銀座歩行者天国とマック1号店オープン、カップヌードル登場、第1次オイルショック、パンダ初来日（カンカン・ランラン）、読売ジャイアンツ長嶋選手引退等々、結構刺激的な出来事が多い時期でした。同年の衆議院総選挙では共産党38名が当選し、議会第三党、野党第二党に躍進。同年には「田代文久」さんが共産党議員として初の国会委員長となりました。

災害ボランティア活動は新潟中越地震（2004年）から始めました。その後、東日本大震災（2011年）、熊本地震（2016年）と参加してきました。この経験から、北九州市議会議員としての初質問（2021年3月）の1つは、「防災・減災のとりくみ」としました。

2020年からの新型コロナウイルス感染症は再び増加の気配を示しており、これからの新興感染症や災害に対して、機敏に対応できる北九州市にしていくために頑張っていきます。



# 永井 佑

教育文化委員会委員長

## 市民の願い実現の政治へ

議員になって4年目に突入しました。これまで議会で、たくさんの市民の声をとりあげて追及してきました。声なき声を丁寧に集めて、つながりをつくりながら市政を変えようと奮闘してきました。

「コロナでバイトがなくなって生活が大変。何とかしてほしい」と食料支援のとりくみに並ぶ学生や、「子どもを産むために100万円以上かかって苦しい思いをして人工授精にチャレンジしている私たちを援助してほしい」という女性。

「有機農法で安心・安全な野菜をつくりたい。野菜嫌いな人も僕の野菜を食べたら絶対おいしいと言わせたい。市や県としてもっと有機栽培にふみだす農家を応援してほしい」という若い農家の方。たくさん思い出します。

その声を議会でぶつけて、市独自の不妊治療助成制度やパンフレットの作成、市独自の食料支援のとりくみなど実現させてきました。

これからも、議員活動でつながりを深めてきた皆さんと一緒に要求実現に取り組み、この国の政治を変えていく体験を広げていきます。

1歳になった子どもと暮らしながら日々子育てに奮闘しています。子どもは毎日ニコニコしながら保育園に行ってくれ、とても安心しています。子育てしながら高すぎる保育料、風邪をひいたときなどに助かる病児保育などの問題を切実に感じます。子育てしやすい北九州市へ力を尽くします。

**SNS更新中**  
QRコードから登録お願いします

